



平成 19 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 アジアパシフィックシステム総研 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 久保 裕
(JASDAQ コード番号 : 4727)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 セールサポート本部長
坂巻 詳浩
電 話 03 - 3985 - 4311

平成 19 年 9 月期中間期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 10 月 31 日付「平成 18 年 9 月期 決算短信(連結)」ならびに「平成 18 年 9 月期 個別財務諸表の概要」にて公表した、平成 19 年 9 月期中間期 (連結・単独) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月期 中間連結業績予想の修正等

(1) 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,800	180	165
今回修正予想 (B)	4,000	340	300
増減額 (B-A)	200	160	135
増減率 (%)	5.3	88.9	81.8
(ご参考) 前年同期実績※	—	—	—

※前連結会計年度は、事業年度の末日の変更に伴う変則決算 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日) であり、同連結会計年度より連結決算に移行したため、前年同期実績はありません。

(2) 修正理由

企業の高いシステム投資意欲を背景に受注面が堅調に推移したことから、売上高は当初予想を上回る見通しであります。また、当初下期の計上を見込んでおりました高利益率プロジェクトが早期に完了し、その検収が中間期末に集中したこと、また、プロジェクトの選別ならびに品質管理の徹底に注力した結果、経常利益は予想数値を大幅に上回る見通しとなりました。なお、訴訟案件の和解費用ならびに固定資産売却損として特別損失に 32 百万円を計上しております。

この結果、売上高は 4,000 百万円、経常利益 340 百万円、当期純利益 300 百万円となる見込であります。

2. 平成19年9月期 中間単独業績予想の修正等

(1) 中間業績予想数値の修正（平成18年10月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,600	175	180
今回修正予想(B)	3,840	320	285
増減額(B-A)	240	145	105
増減率(%)	6.7	82.9	58.3
(ご参考) 前年同期実績※	3,544	233	108

※前連結会計年度は、事業年度の末日の変更に伴う変則決算（平成18年4月1日～平成18年9月30日）を実施しているため、便宜上、平成18年3月期下期（平成17年10月1日～平成18年3月31日）の数値をご参考として記載しているものであります。

(2) 修正理由

連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高は3,840百万円、経常利益320百万円、当期純利益285百万円となる見込であります。

3. 通期業績予想

平成19年9月期通期（連結・単独）業績予想に関しましては、平成19年9月期中間決算発表時に発表する予定です。

以上